

## 真龍男子ミニバスケットボール少年団



▲左から杉山琉斗さん(真龍小6年)須田琉来翔さん(同小6年)

●8月1日～2日  
第5回北海道ミニバスケットボールサマーフェスティバル(帯広市・音更町)

真龍小学校の児童2人が所属する『真龍男子ミニバスケットボール少年団』が、今年から別海町を拠点に活動する『別海町ミニバスケットボール少年団』と合同チームを組み活動しています。今年5月に開催された『第34回釧路地区バスケットボール協会U12部会会長杯争奪大会兼北海道サマーフェスティバル地区予選大会』で釧路管内14チーム中1位の成績を収め、見事、全道大会への切符を手に入れました。同少年団のコーチを務める大島成司教諭からは「練習では個の力を伸ばすことを最優先に取り組んできた。結果を恐れずどんな相手でも立ち向かってほしい」と期待の言葉が寄せられました。

## 厚岸レッドブリッジ野球少年団



▲左から山口稜生さん(真龍小5年)、佐藤花音さん(同小5年)、米内山滉太さん(同小6年)、薩田旭陽さん(同小6年)

●8月8日～13日  
第55回全道少年軟式野球大会(札幌市)

真龍小学校と厚岸小学校の児童20人が所属する『厚岸レッドブリッジ』が、今年から弟子屈町を拠点に活動する軟式野球少年団の『摩周ジャガーズ』と合同チームを組み活動しています。今年5月に釧路市で開催された『第14回NPO法人なごみ杯兼伊藤建業杯学童大会全道少年釧路支部予選大会』で釧路管内12チーム中3位の成績を収め、見事、全道大会への切符を手に入れました。同大会には同少年団から4年生以上の7人が参加し、キャプテンを務める真龍小学校6年の薩田旭陽さんは「全道大会でもチームで声を掛け合いながら、優勝を目指します」と力強く抱負を語ってくれました。

## 未来のアスリート、あっけし旋風を巻き起こせ!



厚岸町の子どもたちが、この夏、全道・全国の舞台へ挑みます。

野球、ミニバスケットボール、空手の各少年団が、目頃の練習で培った力を胸に、全道大会や全国大会へ出場することが決まりました。仲間と共に積み重ねてきた努力が実を結び、町の代表として大きな舞台に立つ子どもたち。地域の人たちの温かい応援を力に、全力で挑む姿を紹介します。

## 北海道糸東会清澄館

●8月13日～15日  
第26回全日本少年少女空手道選手権大会(東京都)  
●8月22日～23日  
第66回空手道糸東会全国選手権大会(大阪府)



▲左から鈴木叶太さん(真龍中2年)、鈴木文大さん(真龍小5年)、鈴木七斗さん(同小3年)、二色柚衣香さん(同小2年)

真龍小学校の児童3人と真龍中学校の生徒1人が所属する標茶町の空手少年団『北海道糸東会清澄館』では、日々の鍛錬を重ね、技の精度と精神力を磨いてきました。日々の個人練習に加え、週3回、標茶町の道場での厳しい稽古に耐えて着実に力を伸ばしてきました。

選手を代表して真龍中学校2年の鈴木叶太さんは「これまでの練習を信じて、ベスト8以上の成績を残したい」と力強く抱負を語ってくれました。